

広報広聴事業

岩見沢市議会議員と市民との意見交換会

実施報告書



—目次—

1. はじめに
2. 開催概要
3. 説明内容（地域公共交通の概要）
4. グループワークでのご意見等
5. アンケート集計結果
6. 最後に

1. はじめに

令和 6 年度秋の「岩見沢市議会議員と市民との意見交換会」を開催させていただきました。今年度の「意見交換会」は、春（5 月）に 8 か所の会場で開催し、久しぶりに年 2 回実施することができました。

今回は、テーマを設けてのグループワーク形式とさせていただき、ご参集いただいた皆様にご意見や日頃考えている事をお話いただいたところです。

今回のテーマは「地域公共交通について」といたしました。理由は、本年 5 月に 8 会場で実施した「意見交換会」で一番話題となった「テーマ」であったことであり、人口減少他を要因とする利用者数の減少や運転手不足等で大変厳しい状況にあります。高齢化が進む中ますます必要性の増す「地域公共交通について」皆さんのお話を聞かせていただき、「議員と市民」が一緒に考えるテーマとさせていただきました。いただいたご意見等は議員各位が市政に反映させるべく取り組んでまいり所存でございます。

引き続き岩見沢市議会は、「開かれた議会」、「身近な議会」を目指して、広報広聴活動のさらなる充実・強化に取り組んでまいりますので、今後とも多くの皆様からのご意見をお寄せいただきますようお願い申し上げます。

岩見沢市議会広報広聴委員会

委員長 宮下 透

副委員長 大和 勝

委員 新井優也

枝廣晴基

坂井秋子

野尻 清

猪口満雅

山田靖廣

松本一郎

2. 開催概要

【開催日時】

令和6年11月22日（金） 18時～19時30分

【開催方法・場所】

会場へ参加：岩見沢市役所4階 委員会室

オンライン参加：ビデオ会議アプリケーション「Zoom」を使用して
会場外から参加（事前申込制）

【参加議員数】

全議員22名中21名

【事業内容】

これまでの意見交換会で多く意見が寄せられた「地域公共交通」をテーマに開催しました。

実施内容としては、冒頭に地域公共交通の概要を説明した後、市民と議員でグループを作り「現状の地域公共交通について実生活でどう思うか」「理想・期待する公共交通」といった内容でグループワークを実施し、最後に各グループより意見交換した結果の発表を行い、多様な意見を拝聴しました。

【参加者数】

参加方法	人 数	合計
会場（市役所）へ来場	13名	15名
オンライン参加	2名	

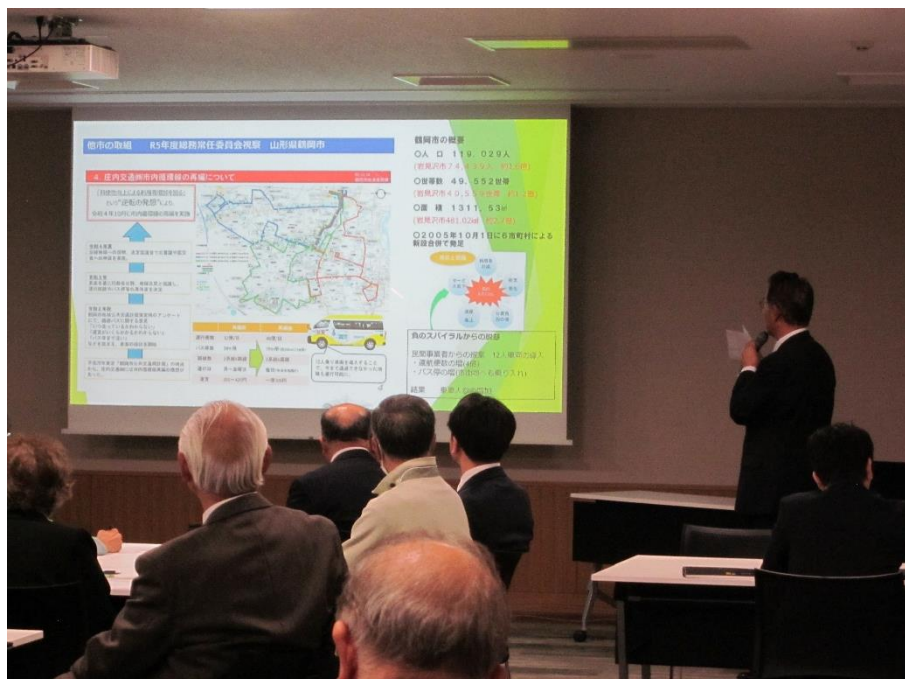
【アンケート回答者数】 13名（回収率86.6%）

3. 説明内容（地域公共交通の概要）

説明内容は紙面の都合上、一部抜粋しております。

地域公共交通の概要説明

- 地域公共交通に求められる役割
- 地域公共交通（路線バス）の現状
 - （１）岩見沢市の公共交通体系の考え方
 - （２）市内を運行する中央バス路線の利用者数
 - （３）中央バス路線に対する市補助額の推移
 - （４）岩見沢営業所の乗務員数
 - （５）各地域における中央バス路線の便数の推移
 - （６）公共交通を取り巻く課題と今後の公共交通体系の方向性
- 新市立総合病院への公共交通
- 他市の取組
 - 令和５年度 総務常任委員会視察（山形県鶴岡市）
- 未来の公共交通への取組
 - 令和５年度 自動運転ＥＶバス実証実験



4. グループワークでのご意見等

ご意見等は紙面の都合上、一部抜粋しているほか、
一部加筆・訂正させていただいております。

テーブル1

現状の地域公共交通について実生活でどう思うか

- 普段の利用が少なく、急な利用時に利用方法が難しいため、アプリの開発やガイドマップが必要
- 2024 年 12 月からの空知中央バスの初乗り運賃の値上げが厳しい
- 通勤通学の時間帯は混雑の緩和が必要

こうあったらいいな、理想・期待する公共交通

- 市内循環線の路線見直しや土・日朝の便数増加が必要
- 今後新病院に向けた路線もしっかり確保してほしい
- 民間タクシーの早朝の配車を増やしてほしい
- 岩見沢市で公共交通利用デーを作って利用促進を図ってほしい



テーブル2

現状の地域公共交通について実生活でどう思うか

- 街の規模は変わらないのに交通網が縮小している。
- 高齢者だけではなく子育て世代も大変
- 北2条が不便、幌向からの通院が不便
- どうしようもないという手詰まり感
- 食費よりも移動費にお金がかかる
- 車がある世代には本当の不便さが分からない

こうあったらいいな、理想・期待する公共交通

- ドア to ドアにしなければ利用者は増えない
- JRに行きやすい交通体系
- 岩見沢駅から新市立病院へのシャトルバスが必要
- 幌向のスーパーに行くまでも大変
- 議員はしっかりやって欲しい、会派等の枠を超えて議員は行動すべき
- 地域の現状を直視する必要がある
- 先進地を参考にする、鶴岡市の例はとても良い
- イオンお買い物クラブとの連携



テーブル3

現状の地域公共交通について実生活でどう思うか

- 普段から車に乗っており車で移動するのであまり困っていない
- 将来的には便数が少ないのは困る
- 便数が少ないのは乗る人が少ないからであり、乗らないと便数はさらに減ってくる

こうあったらいいな、理想・期待する公共交通

- 小さいバスは安心感があっていい
- 目的を限定した上でA I デマンドバスというのはどうか



テーブル4

現状の地域公共交通について実生活でどう思うか

- 運転手不足により便数が減少
- 便数が少なく不便との声を聞く、丁度良い時間にバスがない
- 子どもの習い事が終わる頃にはもうバスがない
- 人口減少であり今の仕組みでは対応できない
- 冬の天候に左右される
- 大雪になると運休になる

こうあったらいいな、理想・期待する公共交通

- JR とバスの接続ができれば利便性が確保される
- バスのサイズをコンパクトにする事で経費削減、雪で狭くなった道でも走行可能になるのではないかな
- EV バスの検証の結果を公表してほしい。また、道内で既に取り入れている自治体への視察をしてはどうか



オンラインテーブル

現状の地域公共交通について実生活でどう思うか

- ・小学生の年代の子どもたちが公共交通を使用することがなくなっており、乗る習慣がなくなっているため、大きくなった時に乗らないのではないかと
- ・車よりも移動時間がかかるため、乗る理由がない
- ・新千歳空港まで行く際に、JRで追分まで行き、乗り換えるとずっと座れるため快適
- ・公共交通がなくならないよう、なるべく乗るようにしている
- ・便数が減って、不便になり、さらに乗らないという負のスパイラル
- ・循環型のため、バスよりも歩いたほうが早いときもあり、乗らないことがある
- ・バスが大型で、現状と合っていない

こうあったらいいな、理想・期待する公共交通

- ・非日常の空間をバスで演出し、乗りたいという気持ちになってもらうことが必要
- ・塾までの送迎を、お金を出し合って行うことも一つの方法
- ・年代や乗る理由によって、解決しなければいけない課題は多様なため、大枠では解決できなく、一つ一つ考えていくことが必要
- ・国の政策と連携することが必要
- ・GX、DXに取り組むことが必要



5. アンケート集計結果

●実施日 令和6年11月22日（金）

●参加方法・参加者数・アンケート回答者数

参加方法	参加者数	回答者数
① 会場へ参加（岩見沢市役所）	13名	11名（84.6%）
② オンライン参加	2名	2名（100.0%）
計	15名	13名（86.6%）

■今回の市民との意見交換会について■

Q1 皆さまについてお聞かせください。

年齢（参考：アンケート回答者13人の平均年齢 53.8歳）

答え	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	無回答
① 会場			3	3	1		3	1	
② オンライン				1	1				
計			3	4	2		3	1	

性別 A 男性 B 女性

答え	A	B	無回答
① 会場	5	6	
② オンライン	1	1	
計	6	7	

Q2 今回の開催について、どのようにお知りになりましたか。 ※複数回答あり

A 市議会ホームページ B 広報いわみざわ C 市議会フェイスブック
D 意見交換会ポスター E 知人 F 新聞など G その他

答え	A	B	C	D	E	F	G	無回答
① 会場	2	1	2	3	4	5		
② オンライン					2			
計	2	1	2	3	6	5		

Q3 参加しようと思ったきっかけは。 ※複数回答あり

A 市議会に関心がある B 内容に興味がある C その他

答え	A	B	C	無回答
① 会場	5	6	1	
② オンライン	1	1		
計	6	7	1	

C「その他」のご意見

- ・市民の今後の生活に興味、不安がある。

Q4 参加した感想についてお聞かせください。

今回のテーマ（地域公共交通）について

A 良い B 普通 C 悪い D その他

答え	A	B	C	D	無回答
① 会場	10	1			
② オンライン	2				
計	12	1			

日時の設定について

A 良い B 平日昼間が良い C 土日昼間が良い D その他

答え	A	B	C	D	無回答
① 会場	9	1	2	2	
② オンライン	2				
計	11	1	2	2	

D「その他」のご意見

- ・仕事の後に参加するためには 18 時 30 分からの開催が良いと思います。
- ・（ABCDにO）それぞれターゲット層が変わり、多くの意見が集まると思います。

会場の設定について

A 良い B 悪い C その他

答え	A	B	C	無回答
① 会場	10			1
② オンライン	1			1
計	11			2

C「その他」のご意見

- ・オンライン参加ができたのがとても良いと思った。もっとたくさんの人がオンラインで参加するよう働きかけてはどうでしょうか

今後の開催について

A 必要 B 必要ない C わからない

答え	A	B	C	無回答
① 会場	9		1	1
② オンライン	2			
計	11		1	1

Q5 今後の意見交換会について、どのようなテーマであれば参加したいと思いますか？
その他、今回の意見交換会でお気づきの点等ありましたらご記入ください。

◆会場（市役所）

- ・意見聴取だけではなく、交換なので、議論できる工夫がほしいと思いました。
- ・市民の声を聞いてほしい。
- ・公共施設の統廃合へのご意見をもらう。
- ・将来の岩見沢について。
- ・概要説明の資料が無く、理解できなかった
- ・概要説明が長いと感じた。もっと簡潔にしても良かったと思う。

◆オンライン

- ・広く市民に意見を聞く事は大切だと思います。今回のテーマなら、よく公共の交通手段を利用する人から意見をもらう事ができたなら、さらにリアルな意見をもらえると思いました。
- ・学校教育、働き方等、地域住民の困りごと、課題を浮き彫りにする内容を期待しています。

■岩見沢市議会について■

Q6 これまでに市議会（本会議・委員会など）を傍聴したことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	4	9		

Q7 これまでに市議会だよりを読んだことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	10	3		

Q8 市議会ポスターを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	9	3		1

Q9 市議会フェイスブックを見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	7	6		

Q10 本会議のインターネット中継（市議会 YouTube チャンネル）を見たことはありますか。

A はい B いいえ C ご意見

答え	A	B	C	無回答
人数	5	8		

Q11 その他、岩見沢市議会へのご意見・ご要望などありましたらご記入ください。

- ・市民の声、行動を引き出すような取組、協働する方向を模索していただきたい。
- ・市民交流、市議会との距離が縮まる企画がありましたら、また参加させて頂きたいと思います。
- ・これからも市民の意見を吸い上げる事業があると良いと思います。
- ・情報発信、今後も期待しています。学校訪問や町内会懇談などの機会をどんどん増やして市民の課題を吸収してほしいと願っています。学校の参観日にあわせて保護者との懇話はいかがでしょうか？ご検討をお願いします。

■市民の皆様のご意見・ご要望について■

この度は、意見交換会にご来場いただき、誠にありがとうございました。お忙しいところ、貴重なお時間を割いていただき、感謝申し上げます。

皆様からいただいた多くのご意見・ご要望については、大変貴重なものであり、今後の議員活動において、参考とさせていただきます。

引き続き、皆様のご意見・ご要望を踏まえ、市民生活の向上のために、議員一丸となって、全力で取り組む所存であります。皆様におかれましては、より一層のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

6. 最後に

岩見沢市議会広報広聴事業
岩見沢市議会議員と市民との意見交換会を終えて

岩見沢市議会では市民に開かれた議会を目指して、平成２６年度に各常任委員会で行った他都市調査報告会を初開催し、その検証結果を踏まえ、平成２８年度からはより意見交換の要素を強くして開催をいたしました。

令和元年度から令和３年度までは、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、市民の皆様と対面での実施ができませんでしたが、コロナ禍を経て令和４年度より対面での開催を再開することが叶いました。

本年は、春に地域８か所に出向いて多様なご意見・ご要望を頂いたことを踏まえ、特に多くのご意見があった「地域公共交通」に焦点を当てた内容で開催いたしました。昨年に引き続きグループワーク形式での意見交換のほか、オンライン参加による意見交換も行い、互いに理解を深めながら様々なご意見を頂戴することができましたので、今後の市議会としての活動に向けて大きな意義を持つものとなりました。ご参加いただいた皆様におかれましては心より感謝申し上げます。

今後も市民に信頼される議会、より身近な議会の実現に向けて努力し、二元代表制の下、市長をはじめとする執行機関と切磋琢磨して、岩見沢市政の発展に寄与できるように務めてまいります。

ご協力を賜りましたことに厚く御礼を申し上げます。

岩見沢市議会議長
峯 泰 教